

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2001年1月1日 ～ 2025年2月28日の間に、再生不良性貧血のため虎の門病院血液科に入院・通院し、同種造血細胞移植を受けられた方

【研究課題名】

成人再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植においてドナーソースの与える影響

【研究の目的・背景】

《目的》

再生不良性貧血に対して同種造血細胞移植を行った症例を解析し、移植源別の成績と特徴を解析いたします。

《研究に至る背景》

再生不良性貧血の患者さんで、血縁者に適格なドナーがいらないため、骨髄バンクや臍帯血からの移植を検討されることがあります。骨髄バンクや臍帯血バンクからの移植については成績が向上している一方、移植すべき時期やどのドナーを選択した方が良いかについては明確な位置づけが定まっていないのが現状です。すべての移植源から幅広く移植を行っている当院での移植経験を解析することで、各移植源の特徴を捉えることができます。本研究の結果から、再生不良性貧血の患者さんにより良い移植医療を提供できるようになる重要な情報が得られると考えております。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年10月23日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。また、本研究に関わる記

録・資料は虎の門病院・血液内科・山本 久史のもと研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当しません。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、薬歴、画像データ

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科・山本 久史

【利用する者の範囲】

共同研究機関：なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026 年 3 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・山本 久史

電話 03-3588-1111(代表)